

班別活動報告

2班 SDGs

SDGsは、新聞やニュース等、社会のいろいろな場面で目にすることが多くなりました。しかし具体的な内容については学習する機会は多くありません。SDGsの目標は1から17(169のターゲット232の指標)と多くありますが、こうふ男女共同参画プランで賛同している目標3・4・5・8・11・17を中心に学習し、推進委員として、男女共同参画社会の実現に向けての活動や地域社会への啓発活動をするためのエンパワーメントを身につけることができればと考え、班活動を始めました。



《リーダー》

清水 正

《サブリーダー》

米山夫佐子

《メンバー》

秋山美代薫／井尻真理子／奥田 正治

小野明日香／川邨 靖／後藤 貴仁

酒井 大介

班活動をする前に、推進委員にアンケートをしましたところ、多くの皆様の協力により回答をいただき、SDGsに対しての皆さんの関心の高さを感じました。

班活動における学習会は、前期(令和2年度)は、後藤委員に講師をしていただき、第1回「SDGsの全体について」第2回「SDGsの目標5・8・11について」第3回「SDGsの目標3・4・17について」と小野委員の講師で「LGBTについて」が開催され、第4回は、「第1回から第3回の学習会を終えて」と班員の皆さん全員に、SDGsに対して個人や会社においての具体的な取組例や今後の活動に向けての発表をしていただきました。

例えば

- ・SDGsを学び、ごみの分別・買い物での車の使用等、より環境問題について考えるようになりました。
 - ・VF甲府では、紙コップに代えてリユース容器をスポンサーの協力により使用し、当時の小泉環境大臣にも講演会で紹介されるような活動にも取り組んでいます。
- ほか、多くの取組や活動例が発表されました。

後期(令和3年度)は、前期のSDGsの6つの目標について学びを終えたところで

- ・普段の生活のどんな事がそれぞれの目標に当てはまるのか？
- ・目標の達成に向けては具体的にどんな活動をすればよいのか？

等を考えながら「誰一人取り残さない」という基礎内容と男女共同参画社会実現のための目標5「ジェンダー平等を実現しよう」をターゲットごとに具体例を紹介する啓発活動用のパネル作成を行いました。

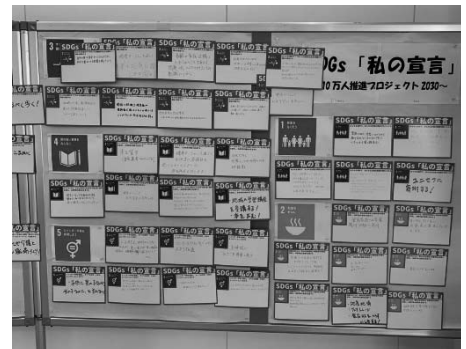
また6月21日から25日まで、市役所の1階市民活動室において、男女共同参画週間のパネル展が開催され、22日23日には、後藤委員による「SDGsのミニ講座」を開催し、多くの市民の方、推進委員の方にも集まっていただき「SDGsの私の宣言」も多くの皆さんに記入していただき好評のうちに幕を閉じることができました。また甲府一高生徒の制作したSDGsのカルタも展示し、関心を集めて見ていただきました。

前期(令和2年度)は班活動を中心に、後期(令和3年度)は班活動と全体活動を並行して行いました。

SDGs(持続可能な開発目標)アンケート集計
令和2年11月10日現在

6月20日~6月25日
男女共同参画週間のパネル展
(市役所1階市民活動室にて)

① SDGsの言葉を聞いたことがありますか?		
1	言葉を聞いたことがある。	22
2	言葉を聞いたことがない。	4
② ①の質問で2と回答した方にお聞きします		
1	機会があれば、すぐにでもSDGsについて学習してみたい。	2
2	すぐにはSDGsについて学習する予定はない。	2
③ ①の質問で、1と回答した方にお聞きします		
1	言葉も、その内容も知っている。	12
2	言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない。	10
④ ③の質問で、1と回答した方にお聞きします		
1	普段の生活においてもSDGsの目標について考え、自分のできる範囲で実践している。	7
2	SDGsの目標について考えることはあるが、なかなか実践できない。	6
⑤ ③の質問で2と回答した方にお聞きします		
1	「第3次こうふ男女共同参画プラン」でSDGsに賛同する目標があることを知っている。	9
2	「第3次こうふ男女共同参画プラン」でSDGsに賛同する目標があることを知らない。	6
⑥ SDGs(持続可能な開発目標)の2030年までの目標達成のための取組は、国や会社はこれからもより進めていくと思われますが個人としては?		
1	個人としても進めるべきである。	24
2	個人としての影響は少ないので、それほど考える必要はない。	2



甲府市男女共同参画推進委員会は、「第3次こうふ男女共同参画プラン」でSDGsの次の6つの目標に賛同し、活動に取り組んでいます。班員の皆さんの班活動を通しての感想・意見とパネル展参加者より提出していただいた「私の宣言」より目標ごとにまとめました。



目標3 すべての人に健康と福祉を

(あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する)

高齢で1人暮らしの方は孤独になりがちなので、安価な補聴器やらくらくスマホで人との交流が多くなれば良いのではないかと

コロナ禍において、他人に感染しない策を施す。また自分が感染しないようマスク着用 手洗い励行 3密回避

子どもが身体障害者1級だが補助金等は成人対象のものがあって困っている時使えないことも実感した

自分自身が高齢者運転に該当する際対応をどうするか自問中。ただ県内は路線バスの本数減少が現状

自治会での集団活動時、各自の禁煙の協力依頼



目標4 質の高い教育をみんなに

(すべての人々への、包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する)

発展途上国への初等教育への支援呼びかけと、我が国の経済格差が教育格差にならないような工夫(スタディクーポン等)をし、若者への投資が大事である

ターゲット4.7「…人権、男女平等、平和及び非暴力的文化の推進…」
広義に解釈すれば、孫に対しこれらの道徳を教育中

学校は週休2日だが、コロナとなり休校が多くタブレットを使用した授業が最近はあるが、運動会等学校行事が中止や縮小され、子ども達の学力がとても心配であり、この境域は質が少ないよう感じます



目標5 ジェンダー平等を実現しよう

(ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う)

男は仕事、女は家庭、というバイアスを変えるには、女性がより社会に関心を持つことが大事で、その一助として地上波の質を高めて表面的や偏った報道噂話に振り回されず、女性の議員数の増加にはクオータ制の導入が必要と思われる

2世帯同居に伴い、育児(道徳教育も含む)を週末等出来る範囲で行っている。勿論「家族の義務」との認識である

女性経営者や管理職がまだ少ないが、女性ならではの観点を生かし男性社会へ進出する事で場を明るくしたり和ませることができます。今以上に女性自身も男性社会へ進出することにより今まで考えられなかった事ができる場合があると思います



目標8 働きがいも経済成長も

(包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用「ディーセント・ワーク」を促進する)

消費税、非正規社員、様々な問題はあるが、まずは男女の賃金格差を無くすことで他の変革に繋がっていくと思う

女性を巡る諸制度、特に相続法分野に関する啓もうを図り、その利活用の促進によりジェンダー平等に寄与するとともに、新たな経済環境を産むことを標榜する



目標11 住み続けられるまちづくりを

(包摂的で安全かつ強靱「レジリエント」で持続可能な都市及び人間居住を実現する)

地域作り会議を老若男女で話し合う事ができたら良い。生活のリフォーム、花を植える、ゴミを出す等SDGsを意識し住みやすい地域作りにつなげる

子どもの遊び場がない。公園などで遊んでいるとうるさいと言われ、外で遊ぶことが困難。結果的に子育てが大変



目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

(持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する)

2030年まで9年。目的達成のため行政、企業、NPO、市民が現状と展望の意見交換を行い、一般市民に公開報告(テレビ、ラジオ、新聞、広報)をし、問題点や意見を集め、更に議論を交わし対策を練る

2年間の活動を終えて

秋山美代薫

コロナ禍でしたが、SDGsを深く学ばせていただき充実した班活動でした。またNWECフォーラム、日本女性会議刈谷、数々のオンライン学習会から新たな刺激をいただき、ジェンダー平等社会実現の重要性を痛感しました。日本女性会議甲府開催という歴史的な時に委員会に参画できたことは最高の思い出になりました。

井尻真理子

SDGsについて理解を深めたかったので2班に入りました。SDGsは、広くて、深くて、でも誰でもできる簡単なことでもあります。自分以外の誰かのために動いたり、環境のために何かができたら、それはSDGsの活動であると学びました。推進委員として、今回学んだことを活かしていきたいです。

奥田 正治

長く教育という世界に身を置いており、SDGsは意識していましたが、男女共同参画という視点からアプローチできたことは大変プラスになりました。2年間の反省も込めて、今後は地域への啓蒙とESD(持続可能な開発のための教育)の充実に取り組みたいと思います。

小野明日香

SDGsで5番目「ジェンダー平等」について関心がありました。私はトランスジェンダーで男女の両方の目線で見た感想です。日本の場合SDGsで言うジェンダー平等は該当しません。ただ私が言えることとして性別に甘える人が多いということ。女性の社会進出がなぜ数少ないのか、男性が女性を見下して女性のトップを望まない又は、そういう女性の足を引っ張ろうとする。女性自身も女だから出来ないといって逃げてしまうことが両方の性別を生きている私には見えています。今の私は自分の生き方を社会に発信して、性別ではなく人として生きられる社会のために発信活動をしていきます。

川邨 靖

男女共同参画の観点から、例えば「夫婦」の場合は「お互いの立場を尊重しながらお互いが出来ることを行動に移す」このことが基本ではないでしょうか？今回旬のキーワード「SDGs」に関し学べるよい機会でした。しかし、本委員会で得た事柄を地元地区へフィードバックすることができず、悔やまれるところです。今後何かの折に、地元地区への展開を図りたいと考える次第です。関係各位の皆様には、2年間有難う御座いました。

後藤 貴仁

委員会の目的の一つに、活動により得た知見を市民の方々に伝えるという責務があると思慮するが、コロナ禍もあり、それを果たすことが出来なかったことを反省する次第です。

酒井 大介

これまで漠然と捉えていたSDGsについて改めて基礎から学ばせていただき、大変ためになりました。守るべき対象を「誰一人取り残さない」だけではなく、取り組む側としても「誰一人取り残さない」ことを意識して、各団体や個人それぞれの立場で、そして日々の生活の中で、誰もがSDGsに取り組めるということを広く伝えていきたいと考えています。

清水 正

SDGsは2030年までの到達目標で、目標5を中心に「第3次こうふ男女共同参画プラン」での賛同目標を実現することは身近な一歩から始めることが大切だ、と学び、普段の生活や地域活動に学びを活かしたいと思います。

米山夫佐子

この2年間の学習を通し、最初難しく感じていた2015年9月に国連で採択されたSDGsも私たちの身近なところから始めていけることを知りました。問題意識を持ち続け、学んだことを家庭や地域社会に活かしていきたいと思います。